

林業の現場へ

11月21日、街中から林業振興を考える市民の方などが京北に来られ、林業の現場を視察しました。私もじっくりと林業の現場に行くのは初めてで一緒に勉強させていただきました。現在日本の木材が置かれている状況、木材の価格や作業のやり方などについていねいに解説してもらいながら、実際に見せていただきました。知らないことがたくさんあり、林業が直面している現実を聞けば聞くほど、もっと「自分ごと」として考えないと感じました。自分に何ができるのか、考えれば考えるほど話が日本の社会構造など壮大になっていき、もどかしくなりません。林業の知識をもっと入れたいと思えた時間でした。



地域新聞「なかえ路」&「くがみ新聞」交流会

11月9～10日、山国の地域新聞「なかえ路」、「山国自治会だより」の編集委員7名が鳥取県岩美町の地域新聞「くがみ新聞」の編集委員と意見交換、交流を深め、私もなかえ路の編集委員として参加しました。出会いは全国機関紙コンクールでの受賞がきっかけのこと。地域新聞を作る苦労や新聞が地域で果たす役割などいろいろな話を共有でき、とても有意義な時間でした。翌日は今年3月に山国隊が行進した鳥取城周辺を鳥取市の方や鳥取歴史振興会の方に案内していただきました。来年は鳥取から山国へ行こうかという話も出ており、山国隊での交流に加えて、新聞づくりでも交流が進みそうな様子でした。新聞づくりはなかなか大変ですが、それがきっかけで地域のコミュニケーションが活発になるとみなさん実感しているようでした☆



かがやき新聞
12月号

京北の歴史ひとことコーナー

～今年が明治維新151年！！引き続き山国隊特集～

山国隊は明治4年の廃藩置県によって鳥取藩付属ではなくなり、軍隊として存続することができなくなった。

山国・中江のサロンにお邪魔しました♪

11月28日、山国・中江のサロンにお邪魔しました。地域新聞「なかえ路」の取材が目的でしたが、ウクレレを持って、みなさんの歌の伴奏をしたり、ボールを使ったゲームや体操などに参加してもらい、終始笑いが止まらず、とても楽しませていただきました。みなさんのパワーに圧倒！！ボールのゲームは本当に爆笑！！笑うと健康になると実感しました。



京都府・地域おこし協力隊研修

11月29日、京都経済センターにて、京都府の地域おこし協力隊研修が行われ、参加してきました。現在、私たちのような地域おこし協力隊は全国で5,000人を超え、京都府内では41人います。全国各地で様々な活動が展開されている中で地域や行政との関係、活動中や3年任期終了後の悩みや課題などをグループワークで各地の自治体職員や協力隊と共有しました。「あなたにとって地域おこしとは？」という最後の問いには一つと同じ意見は出ませんでした。みなさんなら何と答えますか？

2ターン目

協力隊
地域おこし

あなたにとって地域おこし、とは？



京都市北部山間かがやき隊

京北担当

小林 悠歩

電話：075-852-1811

(右京区役所 京北出張所)